



晶文社

6月の新刊案内

海外文学ご担当者様

FAX03-3518-4944

配本申込み切 6月13日

カンディード

ヴォルテール

堀茂樹：訳

四六判上製・256ページ・予価：本体 1800円＋税
ISBN978-4-7949-6927-9 C0098

装丁：平野甲賀

鋭くも明快な経験主義的理性を 再発見する

人を疑うことを知らぬ純真なカンディード。
とある事件から楽園のような故郷を追放され、
戦乱や盗難、そして大地震など、度重なる苦難と災いに
立ち向かう。そして、ついに見つけた“真理”とは……。
18世紀の社会・思想への痛烈な批判を、
主人公の過酷な運命に託した、
啓蒙思想家ヴォルテールの代表的名作。

堀茂樹による解説「『カンディード』を面白く読むために」付!



【著者紹介】ヴォルテール

1694-1778年。啓蒙主義を代表するフランスの哲学者であり、作家、文学者、歴史家としても活躍。1718年、処女作『エディプス (オイディプス)』がコメディ・フランセーズで大成功を収める。26年、名門貴族家とのトラブルでバスティユ牢獄に投獄され、その後、イギリスに亡命。イギリスでジョン・ロックなどの哲学に影響を受け、34年、フランス社会を批判した『哲学書簡』を刊行するが、発禁処分となる。人間の理性を信頼し、自由を信奉し、権力と闘う執筆活動や発言は、ヨーロッパ全域に影響を与えた。

【訳者紹介】堀茂樹 (ほり・しげき)

1952年生まれ。フランス文学・哲学研究家。翻訳者。慶應義塾大学教授。著書に『今だから小沢一郎と政治の話をしよう』(祥伝社)、訳書にアゴタ・クリストフ『悪童日記』『ふたりの証拠』『第三の嘘』、アニー・エルノー『ある女』『場所』(すべて早川書房)ほか多数。

『悪童日記』(アゴタ・クリストフ)、
『ある女』(アニー・エルノー)でおなじみ
堀茂樹の新訳で、1759年発表の
古典的名著が今よみがえる!

晶文社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11 TEL 03-3518-4940 <http://www.shobunsha.co.jp>

取次・貴店印

カンディード

ヴォルテール 堀茂樹：訳

【海外文学】四六版 256ページ 予価1800円＋税
ISBN978-4-7949-6927-9 C0098 6月23日配本予定

ご担当 様

申込部数

冊

展示方法

平 棚
台 差し

新刊委託申込書